

今号では、まずはじめに役員を紹介いたします。  
11名からなる役員の方に対する「思い」や「期待」  
をお届けします。

社会政策が介護保険法改正も利用者負担を増加させ、後期高齢者医療も先行き不安を助長させています。何をどうしたら良くなるのか。学び、訴え、力をあわせて夢と希望を杉並につくりたいものです。

理事長 大友 信勝

市民がオーナーのわが法人が設立されて14年。やっと、まだ、人によって感じ方は違いますが私の場合、「皆さんの力があってこそ」と感謝、感謝です。「利用者の人権尊重」を合言葉に初心忘れず明日に向かってGO!!

理事長職務代理 河 周子

特養ホーム上井草園開設以来十年余、年度末の職員異動では6名の退職者。その一人ひとりの採用面接時の、輝いていた若者の瞳を思い出すと悲しくなります。理事としての至らなさ、申し訳なさを痛感しています。

理事 岡本 波津子

創造力を・・・どうすれば福祉サービスに満足を得られるのでしょうか。私たちに求められていること、出来ること、やりたいことへの創造力をいかして実践していけばと願っています。サンフレンズが造ってゆけばよいのですよね。

理事 徳田 幸子

市民運動からスタートしたサンフレンズだからこそ、より介護現場を理解し、要請に応えたい。そのためには、現場の声を理事会に届け、また、理事会の考えや思いを現場に届ける、職員理事としての私の役割であり、実践してまいります。

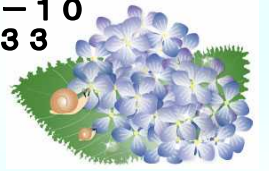
理事 飯田 勤

2002年4月からサンフレンズに関わり、早くも6年が経過しました。微力ながら「自由と可能性を心おきなく生かし、楽しくそして充実した生き方の創造」に、役立っていただけたらと思います。宜しく願いいたします。

理事 森山 千賀子

No.43 2008. 5. 31

発行：社会福祉法人 サンフレンズ  
編集：法人本部 事務局  
〒167-0023  
杉並区上井草3-33-10  
03-3394-9833



昨今の福祉をめぐる状況はあまりにも厳しいと思っています。でも、福祉は一人ひとりの尊厳と生活、社会の公正を守る何より大切な砦ですから、その砦を一緒に守る担い手でありたいと願っています。

理事 朝倉 美江

利用者、現場、職員の代表としての責任ある発言を心していきます。利用者、家族、職員、地域の皆さんとの真摯な関わりを大切にしていきます。職員が希望を持ち、夢をもてるようなビジョンを持ち続けたいと思っています。

理事 藤山 邦子

東京ボランティア・市民活動センターで仕事をさせていただいておりますが、サンフレンズの福祉観の源流は地域を耕し、切り拓くボランタリズムであり、常に学ばせていただきました。

今後ともよろしく願います。

理事 安藤 雄太

政府・自治体が歪めている社会保障・高齢者福祉（営利化・市場化）の下でも、「サンフレンズらしい、一味違うサービス」を提供してゆくため一段の工夫と活動を、職員集団の皆さんに期待し、熱い声援をおくります。

監事 山崎 和一

どのように制度が変わっても、老人福祉法に基づく高齢者福祉の原点をいつも見つめ決して「ひとりよがり」に自信を持ちすぎることなく、サンフレンズ設立に参加した多くの方々の思いを胸に、謙虚に歩を運んでほしい。

監事 佐野 英司

# 2007年度 事業報告

5月30日に開催した理事会・評議員会で、2007年度(2007年4月1日～2008年3月31日)の事業報告と決算が承認されました。紙面の都合により、事業報告は法人全体としての重点事項より抜粋、決算は、収支計算書と貸借対照表を掲載します。

## 法人全体の主たる事業報告

### 1. 特別養護老人ホームサンフレンズ善福寺の開設および事業拡大

#### (1) 特別養護老人ホームサンフレンズ善福寺の開設・運営

介護職員の人材不足の折、予定通り開設できない施設もある社会的状況のなかで、当施設も職員確保に苦戦を強いられました。しかし、他事業所や友愛介護センターのホームヘルパーの応援もあり、切り抜けることができました。

善福寺プロジェクトに続き、開設準備室が検討してきたハード面、ソフト面の工夫が機能的に生かされています。

#### (2) 新規事業および事業拡大

「地域戦略プロジェクト」から、杉並区西地域の拠点を作る必要性として、杉並区全地域に点在する利用者のニーズに応える利便性があげられました。しかし、運営面の課題・問題についてさらなる検討が必要です。

#### (3) 地域マップ作成

地域マップは「地域戦略プロジェクト」から、管理職会議にて随時提示されました。ビジネスエリアの確認、各ふれあいの家がエリア分けでなく、独自性を打ち出すことが重要、専門性を高めるため居宅支援事業所の統合が提議されました。

### 2. 管理職が役割を發揮し、職員が働きやすい環境づくり

#### (1) 管理職の兼務の廃止(リーダーシップが發揮できる環境づくり)

所長補佐職を設けましたが、所長補佐職の職員が現場に入ることが多く、意識づけは図られたものの実質的な効果は得られませんでした。

「人員配置基準プロジェクト」からは兼務廃止によるメリットとして、組織力が高まること等が挙げられました。引き続き経営面とのバランスを検討する必要があります。

検討事項としていた施設・事業所のマネジメント体制の見直しについては、「人員配置基準プロジェクト」で以下の内容が提議されました。特別養護老人ホームにおいては監督職がその役割を担える条件を整えることが、組織としての力量をあげる、友愛介護事業においてはサービス提供責任者の設置基準を明確にすること、法人間の人事交流が事業所の活性化になる、居宅支援事業所においては、相談員との兼務を廃止し、ケアマネジャーを専任化する、通所介護事業においては、配置基準の考え方として、サービス提供時間、年間有給休暇取得、常勤・非常勤職員の割合、送迎・入浴業務、利用率を配慮した基準を考慮すべきである。

自主的なプロジェクトの立ち上げ等、現場職員の意見が反映する体制が法人全体に整いつつあります。

#### (2) 超過勤務と有給休暇

超過勤務については、一年間を通し管理把握に努めてきました。数字的には昨年とほぼ横ばいでした。各事業所の業務見直しを継続的に行っていますが、職員に欠員が生じると、補充までに時間を要しています。補充されたとしてもその指導期間も必要であり、安定化が図れていません。「人員配置基準プロジェクト」からは上記の抜本的改善策が挙げられています。

有給休暇取得率については事業所毎のバラツキがあります。次年度も引き続き、計画的取得を行います。

#### (3) メンタルサポート

管理職、監督職、2年以上勤務の職員対象に、同講師(カウンセラー)による研修を計3回実施しました。

自己を見つめ、他者の理解を深める研修内容は好

評です。法人全職員を対象に、次年度も計画的な研修を予定しています。

### 3. リスクマネジメント体制整備

#### (1) オンブズマン活動

「オンブズマン体制プロジェクト」では、オンブズマン事務局の強化、法人内、オンブズマンとの速やかな苦情の共有化、オンブズマンの家族懇談会等の参加等を提案しました。オンブズマンと管理職間とも討議しました。次年度に体制を整えていきます。

#### (2) 個人情報保護対策

現場職員の視点で作成した個人情報保護策の指針と対策について、現場職員講師による研修を計3回実施しました。新人職員研修等においても継続的に指導していきます。

#### (3) 業務の標準化

ふれあいの家の定期的連絡会において業務のマニュアル化を進めています。法人全事業所の共通となる事項については、次年度の課題です。

#### (4) 防災管理

サンフレンズ上井草では委託管理会社や厨房の業者から修理・修繕計画を提出してもらいました。ナースコールのメインサーバーのデジタル化工事、スプリンクラーの修理工事と大規模な修理がありました。杉並区との交渉で区の負担のもと行いました。建物が老朽化しており、計画的な修繕等、杉並区と連携を図っていきます。

サンフレンズ善福寺では小火を教訓に防災訓練と点検を強化しています。

各ふれあいの家では防災マニュアルを作成しました。

### 4. 人材確保と職員の資質の向上

#### (1) 人材確保

管理職が中心となり人材確保に対して積極的に行動した1年でした。社会福祉士の積極的受け入れ、

気軽に施設見学できるツアーの開催、魅力ある求人票の作成の提案があり、実施していきます。大学・学校等との関係づくりには至っていませんが、

実習生に対しては、教員との意見交換を密にしながら、より個別的な指導を行ない、法人への就職につながっています。多様な人材発掘やワークシェアリングには至っていません。上記の提案の基礎固めから始め、計画的な人材確保が必要です。

検討事項としていたケア道場の開設については、法人独自による人材育成の仕組みとして課題ですが、地域を巻き込んでいく事業であり、経営面での課題もあり、検討するまでに至りませんでした。

ホームヘルパーの資質の向上と人材確保は急務です。介護福祉士養成制度の動向も視野に入れ、次年度に骨格を打ち出します。

#### (2) モチベーションの上がるやる気の出る研修参加・講座

法人の職員研修計画の他、各事業所内での研修も頻繁に行われています。職員自身による研修も各事業所共通に行われています。職場内スーパーバイズの養成につながっています。

単発ではない継続的なメンタルヘルス研修も開始しました。また、衛生面や感染症の研修も強化しています。

年1回の法人全体の運営に関する研修として、理事による「サンフレンズの展望」についての研修も行いました。

#### (3) 報告・発表会の実施

個人情報保護策の指針、対策についての報告研修会を実施しました。

### 5. ボランティアコーディネート創設

#### (1) ボランティアコーディネート創設

これまで十分でなかったボランティアのフォローアップや意見が反映しています。ボランティア控え室も交流場所になっています。

「ボランティア受け入れ方針プロジェクト」からは、法人のボランティア・実習生受け入れ方針を作成し、次年度に生かしていきます。





# 2007年度 決算報告

## 収支計算書

(自)平成19年4月1日

(至)平成20年3月31日

法人名: 社会福祉法人 サンフレンズ  
 会計合算名: 社会福祉法人 サンフレンズ

(単位: 円)

科目	合計	本部会計区分	上井草園会計区分	和田ふれあいの家会計区分	和泉ふれあいの家会計区分	松ノ木ふれあいの家会計区分	永福ふれあいの家会計区分	サンフレンズ善福寺会計区分	ケア24善福寺会計区分	サンフレンズ友愛会計区分	みどりの里会計区分
経常活動による収支											
経常活動による収支(収入)											
介護福祉施設介護料収入	308,037,736	0	241,529,517	0	0	0	0	66,508,219	0	0	0
居宅介護料収入	685,108,431	0	200,236,493	82,281,848	87,796,639	68,419,520	168,141,425	5,829,560	0	72,402,946	0
居宅介護支援介護料収入	65,822,534	0	27,873,668	3,083,499	4,494,382	4,756,570	11,314,423	0	5,932,714	8,367,278	0
利用者等利用料収入	163,159,630	0	85,140,241	8,097,564	8,745,955	7,107,421	17,585,107	24,083,504	0	12,399,838	0
その他の事業収入	140,376,401	0	54,715,504	14,712,972	12,070,343	12,291,742	17,506,657	2,192,660	23,387,580	389,719	3,109,224
寄付金収入	3,173,306	1,170,300	509,600	130,000	90,000	0	10,000	1,243,406	0	20,000	0
借入金利息補助金収入	2,605,676	0	0	0	0	0	0	2,605,676	0	0	0
受取利息配当金収入	1,073,953	729,698	75,562	30,027	30,287	0	85,259	123,120	0	0	0
事業外収入	8,976,664	0	3,307,325	894,194	646,525	1,008,315	2,881,115	195,190	0	44,000	0
雑収入	4,014,871	7,215	2,706,883	346,890	387,999	256,937	18,170	42,297	6,000	242,480	0
経常活動収入計(1)	1,382,349,202	1,907,213	616,094,793	109,576,994	114,262,130	93,840,505	217,542,156	102,823,632	29,326,294	93,866,261	3,109,224
経常活動による収支(支出)											
人件費支出	842,606,541	10,147,639	371,734,493	49,450,451	49,397,175	49,813,142	120,454,640	85,584,953	24,530,060	79,085,412	2,408,576
経費支出	487,961,691	1,275,938	217,302,311	44,178,712	42,239,646	40,168,865	74,878,766	50,067,373	6,721,100	11,128,980	0
(直接介護支出)	195,301,039	16,852	98,571,581	16,351,663	16,199,476	15,284,958	27,990,432	19,941,096	239,232	705,749	0
(一般管理支出)	292,660,652	1,259,086	118,730,730	27,827,049	26,040,170	24,883,907	46,888,334	30,126,277	6,481,868	10,423,231	0
利用者負担軽減額	322,445	0	164,872	55,920	25,166	39,961	26,202	0	0	10,324	0
借入金利息支出	8,348,190	0	0	0	0	0	0	8,348,190	0	0	0
事業外支出	5,796,552	0	1,521,810	530,660	83,830	680,750	2,279,197	700,305	0	0	0
経常活動支出計(2)	1,345,035,419	11,423,577	590,723,486	94,215,743	91,745,817	90,702,718	197,638,805	144,700,821	31,251,160	90,224,716	2,408,576
経常活動資金収支差額(3=1-2)	37,313,783	9,516,364	25,371,307	15,361,251	22,516,313	3,137,787	19,903,351	41,877,189	1,924,866	3,641,545	700,648
施設整備等による収支											
施設整備等による収支(収入)											
設備資金借入金収入	116,000,000	0	0	0	0	0	0	116,000,000	0	0	0
施設整備等補助金収入	73,603,000	0	0	770,000	0	0	920,000	71,913,000	0	0	0
施設整備等寄付金収入	1,548,613	0	0	0	0	0	0	1,548,613	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等収入計(4)	191,151,613	0	0	770,000	0	0	920,000	189,461,613	0	0	0
施設整備等による収支(支出)											
固定資産取得支出	238,039,067	0	2,116,200	1,877,225	842,025	5,409,285	2,188,625	224,844,709	655,998	105,000	0
施設整備等支出計(5)	238,039,067	0	2,116,200	1,877,225	842,025	5,409,285	2,188,625	224,844,709	655,998	105,000	0
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	46,887,454	0	2,116,200	1,107,225	842,025	5,409,285	1,268,625	35,383,096	655,998	105,000	0
財務活動による収支											
財務活動による収支(収入)											
長期運営資金借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設備資金借入金元金償還補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設備資金借入金元金償還寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長期運営資金借入金元金償還寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立預金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計区分繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会計区分外繰入金収入	4,897,571	4,897,571	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動等収入(7)	4,897,571	4,897,571	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動による収支(支出)											
設備資金借入金元金償還金支出	4,400,000	0	0	0	0	0	0	4,400,000	0	0	0
長期運営資金借入金元金償還金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立預金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計区分繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会計区分外繰入金支出	4,897,571	0	4,897,571	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動等支出(8)	9,297,571	0	4,897,571	0	0	0	0	4,400,000	0	0	0
財務活動資金収支差額(9=7-8)	4,400,000	4,897,571	4,897,571	0	0	0	0	4,400,000	0	0	0
予備費(10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)	13,973,671	4,618,793	18,357,536	14,254,026	21,674,288	2,271,498	18,634,726	81,660,285	2,580,864	3,536,545	700,648
前期末支払資金残高(12)	667,543,252	5,838,973	288,820,764	78,751,403	111,308,144	48,784,939	235,423,976	102,028,228	2,520,404	1,301,919	1,861,766
当期末支払資金残高(13=11+12)	653,569,581	1,220,180	307,178,300	93,005,429	132,982,432	46,513,441	254,058,702	183,688,513	5,101,268	4,838,464	2,562,414

## 貸借対照表

平成20年 3月31日現在

法人名 社会福祉法人 サンフレンズ

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘 定 科 目	前年度末	当年度末	増 減	勘 定 科 目	前年度末	当年度末	増 減
<b>流 動 資 産</b>	( 786,760,227 )	( 731,178,230 )	( 55,581,997 )	<b>流 動 負 債</b>	( 138,010,544 )	( 101,595,185 )	( 36,415,359 )
現金預金	499,813,127	525,612,302	25,799,175	短期運営資金借入金			
有価証券				未払金	67,968,277	73,739,906	5,771,629
未収金	177,407,294	203,498,627	26,091,333	施設整備等未払金	44,499,000	812,490	43,686,510
未収補助金	108,024,435	155,939	107,868,496	預り金	7,485,495	3,528,074	3,957,421
貯蔵品				前受金		24,715	24,715
立替金		61,500	61,500	他会計区分借入金			
前払金	1,335,371	1,729,862	394,491	会計区分外借入金			
他会計区分貸付金				仮受金			
会計区分外貸付金				賞与引当金	18,057,772	23,490,000	5,432,228
仮払金	120,000	70,000	50,000	その他の流動負債			
その他の流動資産	60,000	50,000	10,000	<b>固 定 負 債</b>			
<b>固 定 資 産</b>	( 1,248,451,210 )	( 1,451,152,305 )	( 202,701,095 )	<b>固 定 負 債</b>	( 357,755,810 )	( 474,222,000 )	( 116,466,190 )
<b>基 本 財 産</b>	( 809,988,600 )	( 1,266,424,743 )	( 456,436,143 )	設備資金借入金	333,000,000	444,600,000	111,600,000
土地	794,988,600	794,988,600		長期運営資金借入金			
建物		456,436,143	456,436,143	他会計区分長期借入金			
基本財産特定預金	15,000,000	15,000,000		長期預り金			
				退職給与引当金	24,755,810	29,622,000	4,866,190
				その他の固定負債			
その他の固定資産	( 438,462,610 )	( 184,727,562 )	( 253,735,048 )	<b>負 債 の 部 合 計</b>	495,766,354	575,817,185	80,050,831
土地				<b>純 資 産 の 部</b>			
建物	816,953	7,977,934	7,160,981	基本金	( 15,000,000 )	( 15,000,000 )	( )
構築物	871,170	18,148,304	17,277,134	国庫補助金等特別積立金	( 670,258,519 )	( 733,989,208 )	( 63,730,689 )
機械及び装置				その他の積立金	( 49,913,000 )	( 49,913,000 )	( )
車輛運搬具	43,150,076	42,607,134	542,942	移行時特別積立金			
器具及び備品	25,784,553	32,580,075	6,795,522	その他の積立金	49,913,000	49,913,000	
建設仮勘定	289,674,000		289,674,000	次期繰越活動収支差額	( 804,273,564 )	( 807,611,142 )	( 3,337,578 )
権利	358,400	358,400		次期繰越活動収支差額	804,273,564	807,611,142	3,337,578
投資有価証券				(うち当期活動収支差額)	( 105,030,196 )	( 3,337,578 )	( 101,692,618 )
他会計区分長期貸付金							
移行時特別積立預金							
移行時減価償却特別積立預金							
その他の積立資産	49,913,000	49,913,000		<b>純資産の部合計</b>	1,539,445,083	1,606,513,350	67,068,267
その他の積立預金							
その他の固定資産	27,894,458	33,142,715	5,248,257	<b>負債・純資産合計</b>	2,035,211,437	2,182,330,535	147,119,098
<b>資産の部合計</b>	2,035,211,437	2,182,330,535	147,119,098				

**脚注**

	<u>前年度末</u>	<u>当年度末</u>
1 減価償却費の累計額	72,396,512 円	107,513,538 円
2 徴収不能引当金の額	735,797 円	496,536 円
3 移行時特別積立金の積立不足額	円	円

2007 年度事業報告書・決算書の全文は、サンフレンズ上井草、和田・和泉・松ノ木・永福ふれあいの家、友愛介護センター、ケア24善福寺、サンフレンズ善福寺に備えてあります。いつでも自由に閲覧していただけます。

# オンブズマン協力員から

サンフレンズオンブズマンは弁護士、学識経験者、杉並区民などからなり、利用者や家族が直接施設に言いにくい意見、要望、相談などをうかがいます。そしてその内容を調査し、理事長や役員、施設長へ報告、意見、勧告を行っています。2007年度、オンブズマンに寄せられた意見、要望、相談の一部を報告いたします。

皆様からお寄せいただいた苦情・要望は、他にも基本的な介護、紛失物、バスの送迎連絡、デイサービス利用中のけが等についても頂いていますが、紙面の関係で全てを記載することができませんでした。

特に配食サービスについては、苦情が多く寄せられました。配食時の配達員の態度や対応において指導が行き届いていない点がありました。

お弁当はただ単にお届けするだけではなく、顔が見える人と人との関係のサービスにならなければ改善されないと痛感しています。これらの苦情は今後もオンブズマンに随時報告し、各事業所の相談員(オンブズマン協力員)会議で検討の上、共通の問題として改善できるよう努めていきます。



	相談者	種類	苦情・要望内容	対応
上 井 草 園  (特 養)	本人	言動	利用者から「若い男性職員が部屋に入ってきて自分の頬を叩いた」と訴えを受ける。家族に状況を伝えると、「本人から以前にもそのような話があった。叩かれたようなことは無いと思うが」と話があった。	職員に事実確認をし、家族に報告することを伝える。対象者職員全員に聞き取りを実施。その結果、ある職員が親しみの気持ちをこめて「頬を包み込むように軽く叩く行為をした」ことがわかる。園長から「親しみの気持ちを勘違いしないこと」と、利用者の尊厳を犯すような行為はしないことを指導する。
	家族	介護	2時間毎の体位交換とあるが、実際は3時間を経過している。約束は守ってほしい。少し前にアザがあった。園からは報告、説明がなく家族から問い合わせするのはおかしい。食事の記録があいまい、更衣・シーツ交換が約束通りできていない。	事実関係を確認して、ただちに現場責任者が指導、対応し改善する。家族の問い合わせに返事がないことは不信感につながるため、毎月の利用料請求書に苦情、要望の報告を同封し、家族全員に送る。
	家族	介護	基本的な介護をきちんとやってほしい。常勤職員・非常勤職員の間で力関係があるのではないかと、特に常勤職員・リーダー層の対応の悪さを感じる。	上井草園園長、善福寺施設長、本部事務局長が対応。後日、リーダー層を交えて家族と話し合いをもつ。家族の思いを受け止めた上で今後について話し合った。
(シ ョ ト ス テ ィ)	本人	介護	糖尿病なので起床時の時間や血糖値チェック、食事の時間がいつも決まっているのに、なかなか起こしてもらえなかった。朝からの予定が遅れてしまった。	職員間の伝達ミス。医療面やADLを考慮し優先順位を決定する。同時に職員同士の声かけを意識して行なう。(特に職員が入替わる時)
	家族	送迎 時間	予定の時間になっても送迎者が来ない。遅れるのは仕方ないとしても、事前に連絡をすべき。	送迎時間が10分以上遅れそうな時は、ドライバーが相談員へ報告するよう指導している。
	本人	居室 変更	2泊3日の間に、2度も居室を変更し、職員から事前に説明があり了承はしたものの、本心は納得して	今後極力個室を用意し、居室変更をする事がな いよう注意して居室設定をしていく。

	相談者	種類	苦情・要望内容	対応
サンプレンズ善福寺 (特養)	本人	居室 変更	いなかった。今までほとんど個室だったのでそのつもりでいたが、4人部屋のため、慣れずに夜も眠れなかった。	
	家族	離園	離園する理由があると思う。生活が単調のようだ。生活に楽しみを多く取り入れてほしい。見守りができるよう事務所等も工夫してほしい。	レクリエーション、外出を取り入れていくことを伝える。本人の好きな趣味活動も企画する。人の出入りに職員がすぐに対応できるようにドアベルを設置する。
	家族	誤薬	2回誤薬があった。今後絶対起こさないでほしい。リスク管理ができていない。	服薬マニュアルを作成する。マニュアル指導を全職員に行う。指導後に他の利用者の配薬忘れや、配薬後に服薬せずに薬が床に落ちていたことが4件あり、引き続き指導している。
	本人	日常生活	毎日、何もやらない。私は何のために生きているのか。少しでも役にたちたい。	生活の張りや役割を一緒に考えていくことを本人と話す。
	家族	リハビリ	介護職員がいないので歩行練習ができないと職員に言われる。自宅への外出等ができるよう脚力を維持するため、毎日リハビリをしてほしい。	短時間でも毎日リハビリができるよう、ユニットで検討している。
家族	擦過傷	利用者の下肢に擦過傷がある。いつできたのか家族に説明、連絡がない。なぜできたのか報告してほしい。	1か月前の傷であることを記録にて確認するが、なぜできたのか理由が記録されていない。その後、職員に調査させる。おそらく車椅子のフットレストであることを伝え、他利用者も含め介助の注意点とする。	
上井草ふれあいの家	家族	説明 不足	帰宅時、いつもステップ乗車なのに、突然車いすになっていたが説明がなかった。 38度の熱があり、連絡帳に記入していたにも関わらず、その返答が全くなかった。連絡帳をみているのか不安である。	当日、本人のふらつきが多く、転倒の危険があったため車いす対応にしたが、説明不足であった。 職員に対し、連絡帳の役割と家族の思い等を実例をもとに研修を実施している。
	家族	介護	最近デイスサービスから帰ってくると、オムツがズボンまで濡れていることが多い。 先日、左腕にあざができて帰ってきた。介助のとき腕を掴んでいるのではないか。 バスの添乗員に「入浴も大変なんです。」と言われた。	入浴、排泄の介助方法を見直し、改善した。ケアマネジャーが家族に改善状況を報告し、家族も対応に満足していただく。
	家族	職員 対応	出欠処理ミスにより、迎えにこなかったにも関わらず、「バスが遅れた」といい加減な言い訳をされた。	所長、相談員が自宅に訪問し、説明と謝罪をする。
	ケアマネ ジャー	送迎	ヘルパーが通常、階段下でバスを待ち、利用者を送るが、当日は雨であったため、階段を下りないところでバスを待っていた。デイの添乗員が荷物を	送迎がサービスの中に包括されて以降、玄関前までの送迎が基本となっている。一部ヘルパーが玄関外まで送るケースもある。ヘルパーの送り出



	相談者	種類	苦情・要望内容	対応
ふれあいの家 上井草			持たなかった。雨で転倒のリスクも高く、傘を差す程度でも手伝って欲しかった。	しがあっても、状況によっては当然、玄関まで介助を行うべきであることをミーティングで確認する。
	家族	送迎	送迎バス乗車中のシートベルトの付け方において、通常の付け方だと斜めがけになってしまい、首が吊った状態になってしまう。	斜めがけのベルトは脇の下を通すようにした。その後、他のふれあいの家共通の問題として検討し、チャイルドサポートシートベルトを使用することとした。
和田ふれあいの家	本人	配食	配食の再配達を依頼したが、時間のため断られたことに気分を害した。	ケア24の担当者に入ってもらい、制度の説明や今後のサービスの継続性について説明を行う。
松ノ木ふれあいの家	家族	介護	ふれあいの家から帰宅時、使用していないパットを当てており、またショーツとズボン下が上がりきっていない。以前から不信感があり、介護度に見合った介護を行って欲しいと思っていた。手引き介助だと、転倒が怖いし、心配である。	来所曜日の職員ミーティングで周知する。歩行時の介助方法を手引き介助から手押し車使用に変更する。
和泉ふれあいの家	家族	介護	着脱は、以前は自分で出来ていたのに、依存心が強くなってきている。自分でできることはさせてほしい。	本人にお聞きしながらその都度対応することとする。
	ボランティア	職員対応	プログラムの講師に依頼を受けたが、準備段階から実施内容を職員が十分に把握していなく、進行がスムーズに行えなかった。	今後実施していく上で全職員が準備・進行手順を把握するように、マニュアルを作成した。
	家族	介護	母は腰が悪く、昼休みベッドに横にならないと疲れる。最近ベッドがなく、横になれない時がある。	現状のベッド数の中で、時間をずらして、休んでもいただけるように配慮していることを伝える。今後簡易ベッド一つの購入を検討する。
永福ふれあいの家	家族	服薬	通所時に渡した薬が、夕方自宅に戻ると服薬せずにそのまま残っていた。自主送迎の利用者であり、通常は服薬はないが自宅で服用が出来ない場合には、デイで服用している。当日は来所時に男性職員が受け入れをしてくれたと話があった。	職員に聞き取りを行ったが、記憶も曖昧になり事実の詳細を把握することが困難であった。急遽服薬がある方などは、看護師に直接報告してチェック表に記入することになっていたが、今回は看護師への報告、チェック表への記入が漏れてしまった。職員へは、薬の受け取りについてシステムの再確認を行い、特に自主来所者の受け入れについて薬持参の印などをつけて確認を行っている。
	家族	プログラム	ボールを蹴るプログラムに参加をしている時、ゲームの流れに関係なく、突然隣の利用者にくらはぎを蹴られた。謝られる事も無く、ゲームに参加する気分になれなかった。当日デイから帰り、家族が「今日も楽しかった？」いつものように声を掛けたが、この日はまったく返事をしなかった。夕食時に自分からこの事を話したので、相談した。	事実確認を行ったが、申し出のあった事実を把握していなかった。相手の足を蹴った方は認知症があり、足を蹴った事や相手の気分を害した事は認識していない。プログラム進行中の職員配置などの再確認を指示した。



# 2007年度寄付金・寄贈品の紹介

2007年度も多くの皆様から多額の寄付金および物品等をいただきました。

特にサンフレンズ善福寺の開設に伴い、関係団体の杉並・老後を良くする会からは500万円相当の厨房機器の寄贈、サンフレンズ後援会からは250万円の助成金、サンフレンズ応援団からは20万円の寄付金をいただきました。また、友愛の灯協会からは福祉車両の譲渡がありました。

その他にも日本財団からは福祉車両の助成金が交付されました。

## 杉並・老後を良くする会

真真空調理およびクックチルに必要な厨房機器（急速冷却機・電気スーピークッカー・真空包装機・冷蔵庫・電磁調理器）を寄贈していただきました。



真空包装機



急速冷却機

真空包装機は食材の味を最大限に引き出せ、真空パック状態にすることにより、一人ひとりにあった食事を提供することができます。急速冷却機は、一定温度まで冷やすことにより食材の美味しさを保ちます。ご利用者からは食材が柔らかいと好評を得ています。昨年の8月1日の開設以来、毎日フル稼働で活躍しています。



## サンフレンズ後援会

車両(福祉車両トヨタ ラクティス)購入と職員の研修費のために助成していただきました。ご利用者の送迎や買い物等の外出、移送サービスにと、幅広く使用しています。

## 友愛の灯協会



友愛の灯協会は1979年から体に障害のある方や、高齢者等の外出困難の方々にハンディキャブ事業（移送サービス）を実施してきましたが、事業終了とともに車両（福祉車両ニッサン キャラバン）を譲渡していただきました。現在、永福ふれあいの家で使用しています。安全運転第一で今日も杉並区内を走っています。

## 日本財団

日本財団から「福祉車両助成」事業として、軽自動車2台が交付されました。

- 1.和田ふれあいの家 ダイハツ ハイゼットスローパー
- 2.永福ふれあいの家 三菱 ミニキャブ

寄付金および寄贈品については、大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

法人への寄付金および物品等を賜り厚く御礼を申し上げます。

(2008年3月1日から4月30日までにご寄付をいただいた順に掲載)

《 寄付金 》 立教女学院様・伊藤弘武様・匿名希望2名

《 物品等 》 石川勉様・畑本ムネ様・芹沢成光様・阿久澤裕子様・柳田洋子様・尾崎泰史様  
匿名希望9名

## ボランティア紹介 第29回

利用者の笑顔が大好きという詩吟講師 山田 キクエさん

今回は、和泉ふれあいの家で詩吟の講師として毎月2回活動していただいている山田キクエさんをインタビュー形式



でご紹介します。

山田さんはご利用者からもとて人気があり、その詠唱は心と体に元気を与えてくれます。

てくれます。

職員： ボランティア活動をしようと思われたきっかけは何ですか。

山田さん： 和泉ふれあいの家で活動されていた私の詩吟の先生から、「ぜひ、自分の代わりに詩吟を教えてほしい。教えることで、自分も少しずつ詩吟が上達するから。」との依頼を受け、先生と一緒に和泉ふれあいの方に足を運んだのがきっかけです。

職員： 山田さんの好きなこと、得意なことを教えてください。

山田さん： 私はとにかく、得意な歌や踊りを披露し、また、ものまねをして喜んでいただくことが大好きです。

特に、ものまねに関しては、ご利用者の方に声だけでなく、見て楽しんでいただけるように衣装にもこだわっています。以前、用意した衣装を着て扇子を鍬代わりに持って「麦畑」を踊ったこともあり、「その人物になりきる！」ことが

私の得意なことです。

職員： では、将来の夢、やりたいことについてお聞かせ下さい。

山田さん： いつまでも、健康であり続けたいと思います。私が楽しいと思えることを、和泉ふれあいの家で実現させていただいていることがとても嬉しいですね。

活動を始めてから3年になりますが、ご利用者、職員のみなさまは、私が初めて来た時からずっと変わらず、同じように接して下さいます。お会いするときはいつも手を振り、ニコニコ笑ってくださり、みなさまには、感謝の気持ちでいっぱいです。



「人を楽しませることが大好き」と満面の笑みでインタビューに答えてくださった山田さん、本当にありがとうございました。小さな身体から発せられるそのパワーに、とても元気づけられました。これからも、和泉ふれあいの家をよろしくお願ひいたします。

サンプルズだより・ホームページへのご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話 : 03 ( 3394 ) 9833

FAX : 03 ( 3394 ) 9834

担当 : 坂本・財部 (たからべ)

ホームページアドレス

<http://www.3friends.or.jp>

E-mail アドレス

kamiigusa@3friends.or.jp